

平成28年度2月号 [2月15日(発行)]



東風だより

川口市立東中学校
川口市東本郷2-20-47番地
TEL 048-281-4065
特別支援学級 285-2423
さわやか相談室 281-4627
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

ふるさと 故郷

校長 安部 正 幸

開校70周年記念式典で生徒の皆さんが合唱した「ふるさと」は、今でもはっきりと耳に残っています。素晴らしい歌声で、たいへん感動しました。私は福島県の会津若松市で生まれました。両親ともすでに他界しており、もういませんがそこが私の故郷です。「山は青き故郷 水は清き故郷」磐梯山や猪苗代湖、会津はまさにそのようなところです。

「じゅう おきて 什の掟」

会津には、昔から「什の掟」というものがありました。

- 一、年長者（としうへのひと）の言ふことに背いてはなりません。
- 一、年長者にはお辞儀をしなければなりません。
- 一、嘘言（うそ）を言ふことはなりません。
- 一、卑怯な振舞をしてはなりません。
- 一、弱い者をいぢめてはなりません。
- 一、戸外で物を食べてはなりません。
- 一、戸外で婦人と言葉を交へてはなりません。 ならぬことはならぬものです。

会津藩士の子ども達が什というグループを組んで、自ら作ったルールです。さすがに、七番目の掟は今となっては時代遅れの感がありますが、これらには日本人が忘れかけていた大切な躰の心が生きていたような気がします。そして最後の「ならぬことはならぬものです。」は「以上のことをしっかりと守りましょう。」という枕詞のようなものです。

「弱い者をいぢめてはなりません」

福島第一原子力発電所の事故のため、やむを得ず故郷である福島県を離れ転校した子ども達が、各地でいじめを受けているというニュースがありました。私は、同じ県を故郷にもつ子ども達が、ひどい目にあっている様子を見聞きして大きなショックを受けました。「いじめられて苦しいけど、東日本大震災では多くの人たちが亡くなったから、僕は死なずに生きます。」と言った子どもの言葉には涙が出ました。ではどうして、いじめた子ども達が賠償金や放射性物質のことを、あのような間違っただけで知ったのでしょうか。私はいじめた子ども達の周りにいた大人の誤った考え方が、風評とともに知らず知らずのうちに子ども達に移ってしまったのではないかと考えています。そうであるならば、この問題を単に子どもによるいじめ問題だけで終わらせてしまえば、また、どこかで同じ事が起こるような気がしてなりません。「いじめはダメ」と子どもに伝えると同時に、私たち大人が誤った知識や考え方を子ども達に伝えないようにすることも大切だと考えます。

「志をはたして いつの日にか帰らん」福島県出身の子ども達が安心して暮らせるようになってほしいと願うと共に、いつか故郷に帰れる日が来ればよいなと思っています。